

# アラウンド・ザ・ワールド 2

## Around the World

第121回

### 暗号の解説

アラウンド・ザ・ワールドPart2の121回目は、引受査定におけるAIの活用を取り上げる。英国の現状や課題が示唆することは、(RGA再保険会社提供)



エバンス氏



金丸氏

や、継続的な監査計画も講じられていることが分かるだろう。

AI技術を新契約申込プロセスの本番環境に導入するには慎重に計画する必要がある。一つの方法は、保障金額の低い生命保険契約等、初期的には複雑性が低い商品を中心にして、新人のアンダライターの指示をそのまま取り入れるアプローチだ。その後、時間の経過につれ保障金額や複雑性を高めていく。このアプローチでは、保険会社

や、継続的な監査計画も講じられていることが分かるだろう。

### 実行の加速化と内製化の利点

▽第三者が提供する社外ソリューション

よる広範なテストのプロセスにより、効率アップの実現が遅くなる。

△第三者が提供する社外ソリューション

ある。保険会社の大半はデータサイエンティストを配備しているが、通常、引受査定だけでなく広範な業務分野に対応しているため、大規模プロジェクトに十分な時間をかけることが難しい。その結果、小規模な保険会社では内製化の開発時間が長期化し、実行が遅延する傾向がある。リソースが豊富な大規模な保険会社には魅力的な方法が

シヨンの需要はまだはびみがついたばかりだ。現在、一夜にして全てのケースに適用できるソリューションはないが、保険会社は、リソースの課題を低減し、バリュエーション全体を通して効率を向上させるソリューションを特定すべく取り組んでいる。

英国の保障商品市場では、引受査定におけるAIの活用がますます重視されている。何十ページにも及ぶ診断書のサマリ作成や成約後に行うサンプルチェックの層別化がその活用例だ。効率アップを模索する中、保険会社は導入における課題に直面し、ソリューションを内製化するか、第三者に委託するかのシレンマに陥りやすい。

富裕層の申込は査定の細かいアプローチを必要とし、時にはAIではできない営業的判断を伴うという独自の課題が存在する。それゆえ、富裕層のリスク評価の場合、学習済みのAIモデルをデジタル化された診断書に用いることで得られる効果や効率の向上は減少してしまう。富裕層の申込は医的査定だけでなく、

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

### 英国の引受査定におけるAI活用方法の評価

再保険協約の従来の文言では、引受査定の誤謬(ごびゅう)や再保険支払におけるAIソリューションには言及がなく、予測不可能な重大リスクにより保険金支払が発生した場合の責任の所在にも触れられていない。再保険会社と共に検討をさらに進めれば、強固なテストが行われていること

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

### 実行における課題

保険業界のベテランなら誰でも、「インベシヨンは簡単」だが、たとえAIを活用しても「統合が難しい」と証言するだろう。実際、その通り

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

### 富裕層に関する留意点

保険・再保険会社がAI作成のサマリを信頼して活用できるようになるまでには、あり得るとしてもまだ時間がかかるだろう。情報の一部が欠

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

### 執筆者

RGA  
英国およびアイルランド保障商品担当  
チーフアンダーライター  
マイク・エバンス

### 日本語訳

RGA  
アイルランド支店  
山本あゆみ

### 日本語監修

RGA  
アイルランド支店  
金丸大二郎

### 「専門特化型」対「既製品」

AIの大規模言語モデル(LLM)は急速に発展を続け、次第に複雑化し、知性の高度化が見られる。以前は、診断書の医学用語の解釈において、大量の医学的データを学習済みのLLMの方が汎用バージョンより性能が優れていたが、モデルの開発の急速な前進により、アンソロピック社のクラウド等、今や一般化されたLLMが同様な結果を出力するに至っている。

英国では過去10年間に

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

△第三者が提供する社外ソリューション

【エバンス氏のプロフィール】2008年RGA入社。英国・アイルランドで引受査定者のチームを率いる。引受査定におけるAIの活用を含め、業務効率の向上に関する豊かな知見を有する。